



9月 定例会

改選前の9月定例会において、一期目最後の一般質問を行いました。
また、平成24年度の決算を審議し、
一般会計・特別会計共に認定されました。

一般質問要旨

芝生による 地域活性化について

質問

保育園・幼稚園の園庭や小学校の校庭・グラウンドの芝生化について見解を伺う。

答弁

園庭については公立保育所の芝や土それぞれのメリット・デメリットを確認し、今後の環境整備の際には芝生活用の可能性について検討したい。小学校の共用グラウンドの全体的な芝生化は難しいと思う。

質問

「芝生の産地」としての研究を行う用意はあるか？

答弁

横手市は商品としての芝生生産は難しい地域で県内でも取り組み事例はない。需要面でも飽和状態にあり、主産地の茨城県でも栽培面積はピーク時の半分だ。産地となるためには芝の品種改良や生産者の育成、生産管理の組織づくりをしなから販売先の開拓等、様々な課題の解決が必要だ。今後、芝の需要が増えた場合を想定し、横手市の芝生産の可能性について専門機関に相談する。



▲芝生の上でサッカーを楽しむ子どもたち

災害時における地域の 人材との協力体制について

質問

5月のチャレンジデーにおいて地域を熟知しているスポーツ推進員が参加率アップに貢献したという事を知った。このような人材は災害時においても活躍できる。地域に精通した人材を幅広く探し出し、協力頂く体制をつくれぬものか

答弁

自主防災組織は高齢化、リーダー不足といった問題を抱えている。そのようなそれぞれの事情と地域性を考慮した組織化は必要で、そのために地域の人々の「顔」を知っている人材の把握を行い、どのように防災体制をつくっていくかの検討を進める。

24年度決算

- ☆一般会計 549億5455万円
- ☆特別会計 272億8306万円
- ☆実質公債費比率 12.8%

※実質公債費比率・・・借金返済の度合いを測る指標。25%を超えると起債制限団体となり、単独事業の起債が一部認められなくなる。

質問

「人材さがし」は行政でもわかりきれない部分であり、町内会・自治会との関係が重要になってくる。そういう視点から見直しができないか。

答弁

時代の変遷の中で、町内会・自治会がつくった自主防災組織が機能しない問題を抱えている。そこに真正面から向き合う姿勢は欠かせない。接点をどのように図っていくかは難しいが濃い関係をつくっていききたい。

あとがき



☆昨年11月に開催された「増田民俗芸能フェスティバル」の様子です。増田の各地区では伝統芸能が継承されています。「内蔵」と組み合わせ魅力が発信できれば盛り上がるのでは！



☆所用でちよくちよく秋田市に行くのですが、広面でおいしいそば屋さんを発見しました。コシがあつとてもgood! かまぼこ店に併設されているので、お茶と一緒にかまぼこも出てきます(^^)